

### 質疑・一般質問

9月15日、16日、17日の本会議では、20人の議員が登壇し、決算や各事業について市の見解を求めました。また、17日には追加提案された一般会計補正予算について質疑を行いました。

発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、QRコードを読み取ると本会議の録画映像をご覧いただけます。



### 発言者一覧

— 発言順 — ( ) は会派名

9月15日・16日・17日

- 林 健太** (自民党 真誠会・代表質問)  
 ①令和元年度決算状況を踏まえた持続可能な財政運営  
 ②工場立地法における緑地面積率 ③アフターコロナ、ウィズコロナを踏まえて
- 梅田 宏希** (公明党)  
 ①議案第83号 令和元年度明石市一般会計歳入歳出決算  
 ②本市中央部の交通対策 ③住民票の写し等のコンビニ交付サービス
- 筒泉 寿一** (維新の会)  
 ①明石の海の在り方 ②SDGs未来都市としての取組  
 ③森林環境譲与税 ④少年自然の家
- 出雲 晶三** (未来明石)  
 ①明石川の治水とJR明石川橋梁工事 ②令和元年度の明石市決算と今後の財政運営 ③県立がんセンターの建替整備
- 榎本 和夫** (自民党 真誠会)  
 ①高丘校区小中一貫教育校 ②市長の市政運営
- 飯田 伸子** (公明党)  
 ①新型コロナウイルス感染拡大期に備えた本市の医療体制の構築
- 森 勝子** (維新の会)  
 ①コロナ感染症対策の今後の方針 ②明石市のICT教育の今後の見通し ③就学前(幼児)教育の取組
- 丸谷 聡子** (未来明石)  
 ①市民の命と人権を守る新型コロナウイルス感染症対策  
 ②「学ぶ権利」を保障する「夜間中学」 ③子どもの声を聴き、子どもの権利を守る「子どもアドボカシー」の導入  
 ④次世代につなぐ環境にやさしいエネルギー政策
- 種原 成人** (自民党 真誠会)  
 ①コロナ禍における学校教育 ②こども食堂の現在の取組  
 ③環境関連施策
- 松井 久美子** (公明党)  
 ①令和2年度高齢者インフルエンザ予防接種の無償化  
 ②「SDGs未来都市」構築に向けた取組 ③明石市のGIGAスクール構想の取組状況 ④市道魚住2号線・山手環状線の周辺におけるバス路線の確保
- 北川 貴則** (維新の会)  
 ①コロナに負けない生活支援と感染防止策 ②「日本一安全なまち明石」の実現のための危機管理 ③コロナに負けない健全財政
- 寺井 吉広** (自民党 真誠会)  
 ①新型コロナウイルス感染症対応 ②「3密」を避けることが困難な福祉施設 ③新型コロナウイルス感染拡大による影響
- 国出 拓志** (公明党)  
 ①西明石町を中心とした和坂校区内の浸水対策 ②明石の将来を担う今後の農業施策 ③スマートフォンを活用した防災対策 ④明石市版おくやみハンドブック作成
- 楠本 美紀** (日本共産党)  
 ①新型コロナ対策に係る介護報酬特例措置による利用者の負担増  
 ②小中学校給食に安全・安心の国産小麦を使ったパンを ③子どもたちに少人数学級をプレゼントしよう  
 ④高丘小中一貫教育校
- 宮坂 祐太** (フォーラム明石)  
 ①コンパクトシティの推進と立地適正化計画の策定
- 竹内 きよ子** (明石かがやきネット)  
 ①令和元年度決算 ②新型コロナ禍における明石市の公共交通機関 ③市内学校における新型コロナウイルス感染症防止対策のための教育環境整備 ④併設型小中一貫教育校の開設
- 家根谷 敦子** (スマイル会)  
 ①やさしいまちづくりのさらなる推進
- 辻本 達也** (日本共産党)  
 ①令和元年度明石市一般会計歳入歳出決算 ②新型コロナウイルス感染症対策 ③空家等対策計画
- 吉田 秀夫** (フォーラム明石)  
 ①コロナ禍における災害対策 ②超高齢社会への対応  
 ③新型コロナウイルス感染症対策
- 林 丸美** (明石かがやきネット)  
 ①子どもたちの給食 ②災害対策における女性や多様な視点の必要性 ③駅前喫煙所

9月17日  
**辻本 達也** (日本共産党)  
 ①議案第96号 令和2年度明石市一般会計補正予算(第7号)

## 明石製品の返礼品を拡充 ふるさと納税の収支が黒字に 企業版の導入も検討

**問** 令和元年度のふるさと納税は、初めて収支が黒字となり、明石産

**答** ふるさと納税は、納税者が生まれ育ったふるさとや応援したいまちに寄付ができる制度だ。昨年度は、市内事業者への訪問と提案を重ね、返礼品を333種類に拡充したほか、新たな納品を全国に発信した功績は大きい。本事業の評価や今後の取り組みについて聞く。



返礼品は約400種類

品を全国に発信した功績は大きい。本事業の評価や今後の取り組みについて聞く。

今年度は、納税受付サイトの追加することにより、実質的な収支額が約1600万円の黒字となった。

返礼品をさらに追加し、イトをさらに追加し、返礼品を約400種類に拡充した結果、8月末時点で昨年度の同時期と比べ、2倍近くまで寄付額が増えている。

**問** 気候非常事態宣言に  
 今後は、民間企業等の法人が税制上の優遇措置を受けられる企業版ふるさと納税を導入し、市内外の企業に周知を図りたい。

**答** 本市は、明石クリーンセンターにおけるメガソーラー、ごみ焼却熱を活用した発電、南二見の未利用地を活用した太陽光発電など、再生可能エネルギーの導入を進めてきた。市役所新庁舎の建設については、太陽光発電パネルの設置や吹き抜けを利用した自然採光・換気など、環境配慮型庁舎として設計を始めている。電力一括調達にも取り組み、今年度は市内92カ所の高圧受

### 市民生活や地域経済を支援

### キャッシュレスポイント事業

### 導入効果を検討

**問** 市民生活の応援と地域経済の活性化を目指し、キャッシュレス決済を活用した事業を実施しないか。

**答** 本市は、個人商店等緊急支援金をはじめ、プレミアム商品券や高齢者・障害者サポート

利用券、生活見守りサポート券を発行し、市民生活や地域経済の支援を行ってきた。キャッシュレスポイント事業は、プレミアムポイントの付与による消費喚起や現金に直接触れないことで感染

予防となるなどのメリットがある。一方、キャッシュレス決済の普及率はまだ低い。市民の間で不公平感が生じる懸念があるほか、商店側も設備面の導入コストや手数料の負担等の課題がある。

まずは、課題や本市の地域経済への効果を分析し、他都市の実施状況や成果を踏まえた上で検討していきたい。



バランスのとれた発展を

**問** 将来を見据えたまちづくりを進めるため、都市機能や居住区域の誘導・集約化と交通網の整備を行うコンパクトシティ・プラス・ネットワークと、その推進に欠かせない立地適正化計画の策定について

国が策定している。この計画の策定により、まちづくりにお

## 将来を見据えたまちづくり 市内全域の発展を目指し 立地適正化計画を策定

**問** 本市の認識を問う。  
 明石駅前再開発事業を核とした中心市街地活性化基本計画が今年度で終了する。これに替わる新たな計画は、中心市街地だけでなく、市内全域の均衡ある発展を図るとい方針やコンパクトシティ・プラス・ネットワークを推進する観点から、立地適正化計画の策定が有効と考える。この計画の策定により、まちづくりにお

**答** 明石駅前再開発事業を核とした中心市街地活性化基本計画が今年度で終了する。これに替わる新たな計画は、中心市街地だけでなく、市内全域の均衡ある発展を図るとい方針やコンパクトシティ・プラス・ネットワークを推進する観点から、立地適正化計画の策定が有効と考える。この計画の策定により、まちづくりにお

**問** 明石市版おくやみハンドブックの作成について市の考えを聞く。

**答** 親族が亡くなった際に必要な手続きは、市役所で行うものと金融機関等の市役所以外で行うものがある。市役所で行う手続きは、あかし市民便利帳に掲載しているほか、遺族が死亡届を提出する際は、手続きと担当窓口を一覧にした案内文書を渡

## 導入しないか 遺族に寄り添う ハンドブック

し、必要に応じて職員が窓口まで案内している。市役所以外で行う手続きのうち相続に関するものは、弁護士による法律相談を案内するなど、遺族に寄り添う対応を行っている。おくやみハンドブックは、遺族の負担が軽減できる必要かつ有効な方法の一つと考える。このため、市役所以外で行う手続き等の情報も盛り込んだ明石市版の作成について、すでに導入している自治体も参考しながら関係課で協議・検討していきたい。